



授業改善と学級担任の「凡事徹底」

所長 平安山 敏和

5月中旬に梅雨入りし、雨天、曇り空が続いておりますが、各園・学校では、子供たちが雨水の大切さも学びながら、日々元気に活動していることと存じます。

那覇市教育委員会では、二〇一九年度版「那覇市学力向上推進計画 ふくぎじんぶなうプラン」を作成し、各学校へ配布しております。各園・学校では、既に御活用いただいていると思います。今回、沖縄県の学力向上施策である「学力向上推進プロジェクト 授業改善6つの方策」等も踏まえ、授業改善のため学級担任一人一人が日常的に「凡事徹底」とすべき項目をピックアップしてみました。詳細については本県・本市の学力向上施策をご参照いただき、各学校・園の学力向上推進に役立てていただけたらと存じます。

1 学級経営の改善

- ① 「さん」づけ、作品へのコメントを継続し、授業の基盤となる支持的風土のある学級経営を行う。
- ② 合意形成や意思決定、自己有用感を大切にした学習活動を展開する。
- ③ 学級経営PDCAサイクルを日常的に活用し、学級経営を改善する。
- 2 「確かな学力」の向上

- ① 那覇市の目指す授業像「課題意識をもち、他者との交流を通して主体的に自分の考えを上げ深め、資質・能力が育成される授業」を全職員で共有し、「主体的・対話的で深い学び」「問い」が生まれる授業の実現を目指す。
- ② キャリア教育の視点を踏まえ、「学ぶ意義」「働く意義」を実感させる。
- ③ 学習状況の把握と支援の継続、学習規律・規範意識を徹底、家庭学習・読書活動を充実させ、学習を支える力を育成する。

- ④ 学校図書館の活用充実・電子黒板等のICT機器の活用を充実させる。
- ⑤ 授業改善PDCAサイクルを日常的に活用し、学力を向上させる。

- ⑥ 授業開始・終了を徹底し「コンパクトでインパクトのある」導入を行う。

- ⑦ 「めあて」に正対した「まとめ」「振り返り」を確実に実施する。

- ⑧ 学習のねらいに迫る意図的・計画的な発問を工夫する。

- ⑨ 思考を広げ、深める発問を工夫する。

- ⑩ 課題について自分の考えを持たせる時間を確保する。

- ⑪ 学習のねらい達成に向けた交流場面を設定する。

- 3 基本的な生活習慣の形成

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」「食べて動いてよく寝よう」の取組を充実させる。

- ② 身の回りの整理整頓や自他の物を大切にすることの指導を行う。

- ③ 日常的に校内放送をしっかりと聞くことや整列して安全・迅速に移動すること等を徹底し、自他の命を守る、危機予知、危機回避できる能力を高める。

- 4 学力向上マネジメントの推進

- ① キャリアステージに応じた学校・園内の役割を認識し、自身の資質向上や同僚の資質向上に貢献する。

- ② 各種学力調査の結果を活用して、学級の課題解決を図る。

- ③ 沖縄県学力向上Webシステムを活用し、落ち込みを把握し補習的指導を行う。

6月の教育研究所事業予定

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| 5日 | (火) | 教育法規講座Ⅰ |
| 19日 | (木) | 第3回 中堅教諭等資質向上研修会
(道徳科代表授業) |
| 23日 | (日) | 慰霊の日 |
| 27日 | (木) | 第5回 初任者研修
(特別活動示範授業) |
| 28日 | (金) | 教育法規講座Ⅱ |

中堅教諭等資質向上研修会

6月19日(木)の第3回 中堅教諭等資質向上研修会では、道徳科の代表授業を実施します。中核教員としてこれまでの実践をもとに道徳科の指導における課題解決を図り、指導力向上を目的として実施します。

小学校2グループ、中学校1グループに分かれ、各グループで「道徳的価値の自覚を深める授業づくり」「考え、議論する道徳の授業づくり」等、共通課題に対して、グループ全員で授業をつくり、研修会で研究討議を行います。

(昨年度の様子)



NARAEネット事業

【アドバイザースタッフ派遣事業】

那覇市教育委員会と琉球大学教育学部との連携・協力事業で、琉球大学の先生方を校内研修等へ招聘して、教材研究や授業づくり等を一緒になって研究することができます。昨年度は「夏期リーダー研修会での講話」や「特別の教科 道徳」等の研修で活用した学校もありました。

★詳しくは、教育研究所Webページをご覧ください。

